

市議会だより

GOJO

No.79

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会
令和3年（2021年）5月1日

(芝崎河川公園)

令和3年五條市議会第1回臨時会及び 第1回3月定例会の概要

令和3年第1回臨時会は、会期を1月28日の1日間と決定し、新型コロナウイルスワクチン接種対策に関する補正予算についての提出議案の説明を受け、議案審議及び議決を行い、閉会しました。

令和3年第1回3月定例会は、3月1日に開会、会期を26日までの26日間と決定し、初日に市長の施政方針と提出議案の説明を受けるとともに、代表監査委員から令和2年度定期監査結果報告がありました。

本定例会も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から前回の12月定例会に引き続き「一般質問の自粛」を申し合わせ、一般質問を行いませんでした。

本定例会には、令和3年度各会計予算案をはじめ、令和2年度五條市一般会計等の補正予算案などの重要案件が市長から提案され、令和3年度各会計予算案については、慎重審議を期するため、予算審査特別委員会を設置し、それぞれ慎重審議を行い、3月25日に議事が全部終了し閉会いたしました。

目次

総務文教常任委員会の報告	2ページ
厚生建設常任委員会の報告	3ページ
予算審査特別委員会の報告	4ページ
予算審査特別委員会の報告・議長交際費	5ページ
表決結果と議決結果	6ページ
議決結果	7ページ
南和広域医療企業団議会の報告ほか	8ページ

各委員会報告

総務文教常任委員会

3月定例会で本委員会に五條市過疎地域自立促進計画の一部変更、令和2年度五條市一般会計補正予算

(第9号) 議定、五條市気候非常事態宣言の3議案が付託され、審査の結果、全員一致で可決すべきものと決定しました。

委員会での質疑内容の一部を抜粋してお知らせします。

ている場所なので、工事方法についてよく考えていただきたい。

委員 寄附金をどのように有効活用しようとしているのか。

委員 寄附者に対し、6項目の運行形態は。

答弁 西吉野町方面については、市のバスを現状の台数で運行し、阪合部・大深町方面については、市の2台のバスと業者から1台のバスを借りて運行する予定である。

委員 学校適正化に伴うバスから寄附金の使用目的を確認しております、概ね58%の方が医療・福祉・環境保全に関する事業に使つてほしいとの回答があつた。

答弁 ワクチン接種に係る体から寄附金の使用目的を確認しております、概ね58%の方が医療・福祉・環境保全に関する事業に使つてほしいとの回答があつた。

答弁 ワクチン接種に係る体から寄附金の使用目的を確認しております、概ね58%の方が医療・福祉・環境保全に関する事業に使つてほしいとの回答があつた。

総務文教常任委員会の報告

令和2年度五條市一般会計補正予算(第9号)議定について

五條市過疎地域自立促進計画の一部変更について

委員 今回の計画に追加する

野外運動場及び水泳プールは。

答弁 野外運動場については、

五條西中学校グラウンド整備

工事、水泳プールについては、

令和3年4月から五條南小学

校となる施設のプールの耐震

補強工事等や、五條東中学校

のプールの漏水に対する防水

工事等である。

委員 五條西中学校グラウン

ド整備工事は、毎年土を入れ

るが、検討していただき、少しでも市にお金が残るようにな



委員 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

答弁 令和3年1月末現在の件数は6,651件、寄附金額は7,216万2,000円、楽天で受付を行つた返礼品代を含む委託料は、3,782万3,449円で、市で受付を行つた報償費は、40万7,314円である。

答弁 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

答弁 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

答弁 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

答弁 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

答弁 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

総務文教常任委員会の報告

委員 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

答弁 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

答弁 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

答弁 ふるさと五條市応援寄附金の件数・金額等は。

五條市気候非常事態宣言について

委員 地球温暖化対策は大変重要な課題であるので、本市においても、全市議会議員が

答弁 行政と一体となつて取り組まなければならぬ。

答弁 行政と一体となつて取り組まなければならぬ。

答弁 行政と一体となつて取り組まなければならぬ。

総務文教常任委員会の報告

予算審査特別委員会

3月定例会では、令和3

年度の各会計予算について
慎重審査を期するため、本
委員会を設置して、審査を行いました。

審査では、まず、総括質
問に続いて、各費目につい
て審査を行いました。総括質
問及び一般会計の各費目
の審査内容の一部を抜粋し
てお知らせします。

総括質問

大規模広域防災拠点整備事業
について

委員 阪合部地区での説明会
の回数は。

答弁 令和2年度中に7回開
催した。

委員 市としては、自衛隊誘
致を諦めたわけではなく、今
後も要望活動は進めて行くの
か。

答弁 そのとおりである。

委員 大規模広域防災拠点の
第一期工事に向けての今後の
予定は。

広域防災拠点整備基本計画を

策定すると聞いています。

委員 地元との調整をしつか
りしていただきたい。また、

地元からほどのような質問事
項があるか。

答弁 2千メートル級滑走路
の計画による騒音問題、また、
大規模な造成工事による農業
用水や調整池の問題、工事用
道路に関する質問等である。

答弁 2千メートル級滑走路
の整備計画の見直しは。

委員 県は、南海トラフ巨大
地震などの大規模災害発生時
に備え、救助要員の集結及び
救援物資の集積・配送機能な
どに優れた防災機能を有する
広域防災拠点の整備がぜひ必
要との観点であり、紀伊半島
が被災した際の後方支援拠点
としての機能を担う面から、
本市に2千メートル級滑走路
を有する大規模広域防災拠点
の整備を進めようとしている。

答弁 県は、南海トラフ巨大
地震などの大規模災害発生時
に備え、救助要員の集結及び
救援物資の集積・配送機能な
どに優れた防災機能を有する
広域防災拠点の整備がぜひ必
要との観点であり、紀伊半島
が被災した際の後方支援拠点
としての機能を担う面から、
本市に2千メートル級滑走路
を有する大規模広域防災拠点
の整備を進めようとしている。

に竣工する計画である。

委員 市内で一番大きな避難
所となつてある総合体育館に

向かうための重要な道路であ
る。工事の進捗の遅れや地元
に迷惑をかけないように進め
ていただきたい。

答弁 65歳以上となる方、基礎疾患
を有する方、高齢者施設等の
従事者、60歳から64歳の方、
その他の方の順序で予定して
いる。

答弁 1月に阪合部地区自治
連合会総会で説明させていた
だいた。

答弁 野原小学校跡地利用計
画は。

答弁 現在、未定ある。

答弁 教育施設としての利用
は可能か。

答弁 野原小学校跡地利用計
画は。

答弁 集団接種会場として、
保健福祉センター、西吉野コ
ミュニティセンター及び大塔
診療所を予定している。また、
個別接種は、医師会等に協力
していただき効率的な接種に
努めさせていただきたい。

答弁 接種会場は。

答弁 集団接種会場として、
保健福祉センター、西吉野コ
ミュニティセンター及び大塔
診療所を予定している。また、
個別接種は、医師会等に協力
していただき効率的な接種に
努めさせていただきたい。

答弁 現在、未定ある。

答弁 教育施設としての利用
は可能か。

答弁 今後は教育委員会事務
局が一定の管理をしていくが、
貸出しは非常に難しい。

答弁 今後は教育委員会事務
局が一定の管理をしていくが、
貸出しは非常に難しい。

答弁 新庁舎移転に伴う現庁
舎の跡地利用は。

答弁 五條市ビジョンに庁舎
跡地整備事業として掲載され
ており、市のまちづくり計画
等、様々な観点から調査検討
し基本的には有効利用してき
たい。

答弁 今後、いろいろな意見
を調整しながら
協議を進めていき
たい。

新型コロナウイルスワクチン 小学校35人学級について

接種について

委員 35人学級の方針に対す
る対応は。

答弁 市内小学校7校のうち
6校が単学級であり、1学級

35人を下回っている。1校だ
けが74名で施策に該当するこ
ととなり、3学級の学級編制
を行っている。

答弁 簡易水道事業について

委員 簡易水道事業の現状は、
20施設あり、10施設が

水道局の直営で、残り10施設
が地元組合で維持管理運営を

行っているが、現在、百谷地
区、赤松地区及び阪巻地区の
統廃合により、施設の合理化

を目指した工事がまもなく完
了する予定である。

答弁 今年の計画は。

答弁 県域水道一体化構想に
より、令和6年度に水道企業
団設立の計画がある。令和5
年度を目標として施設整備を
進めながら、直営化を目指し

ている。

答弁 今まで以上に努力をし
ていただきたい。

